

山陰中央新報デジタル

2021年10月5日(火)

[新聞申込み](#)[Sデジ申込み](#)[ログイン](#)[会員登録](#)[検索](#)[トップ](#)[山陰](#)[スポーツ](#)[全国](#)[コラム](#)[特集](#)[お悔やみ](#)[紙面ビュー](#)[Sデジオリジナル](#)[山陰](#)[島根](#)[石見](#)[鳥取](#)[新商品・新店舗](#)[人事](#)[経済](#)[くらし・文化](#)[山陰プレスリリース](#)
[HOME](#) > [山陰中央新報ニュース](#) > [山陰](#) > [平和願う湖岸の光 松江](#)

平和願う湖岸の光 松江

[山陰](#)

2021/9/27 04:00

[拡大する](#)

幻想的なあんどんの世界を見入る市民＝26日夕、松江市袖師町

手作りのあんどんに明かりをともして平和を願う「万灯会（まんとうえ）」が26日、松江市袖師町の宍道湖岸であり、市民が柔らかな心地よい光に見入った。

湖に浮かぶ嫁ヶ島の環境保全に取り組むNPO法人「水の都プロジェクト協議会」（松江市米子町）が毎年開いている。

日が沈み、周囲が少しづつ暗くなると、メンバーが並べたあんどん（高さ30センチ・直径10センチ）の光が湖岸に広がり、神秘的な風景が現れた。

家族で訪れた松江市上乃木6丁目、主婦藤原優子さん（43）は「（水都の）松江らしい機会を作ってくださいました」と感謝した。

協議会の仙田一吉理事長（76）は「皆さんが穏やかな気持ちになり、子どもたちの古里の思い出にもなってくれればうれしい」と話した。（多賀芳文）



クリップ

地域 > 島根 > ニュース

湖面照らす希望

2021/09/27 05:00

この記事をスクラップする



宍道湖岸に並べられた灯明（松江市で）

嫁ヶ島万灯会

嫁ヶ島を望む松江市の宍道湖夕日スポット「とるば」で26日、約1000個の灯明をともす「嫁ヶ島万灯会」が行われ、見物客が柔らかな明かりに見入った。

嫁ヶ島の環境保全などに取り組むNPO法人「水の都プロジェクト協議会」（仙田一吉理事長）が主催。世界平和や家内安全を祈ろうと、毎年、灯明の奉納者を募って実施している。

今年は市内外の約600人から応募があり、灯明一つ一つに奉納者の名前を墨書して、野代神社（浜乃木）で清めたという。

この日は、日没前から家族連れが集まり始め、写真を撮るなどした。松江市の門脇あゆむさん（38）は「とても幻想的。コロナ禍に温かな希望の灯をともしたみたい」と見とれていた。

無断転載・複製を禁じます

この記事をスクラップする

使い方